

# マルチメディア情報配信システム “MEDIAGATE”と応用システム

土田泰治\*  
持田英男\*

## 要旨

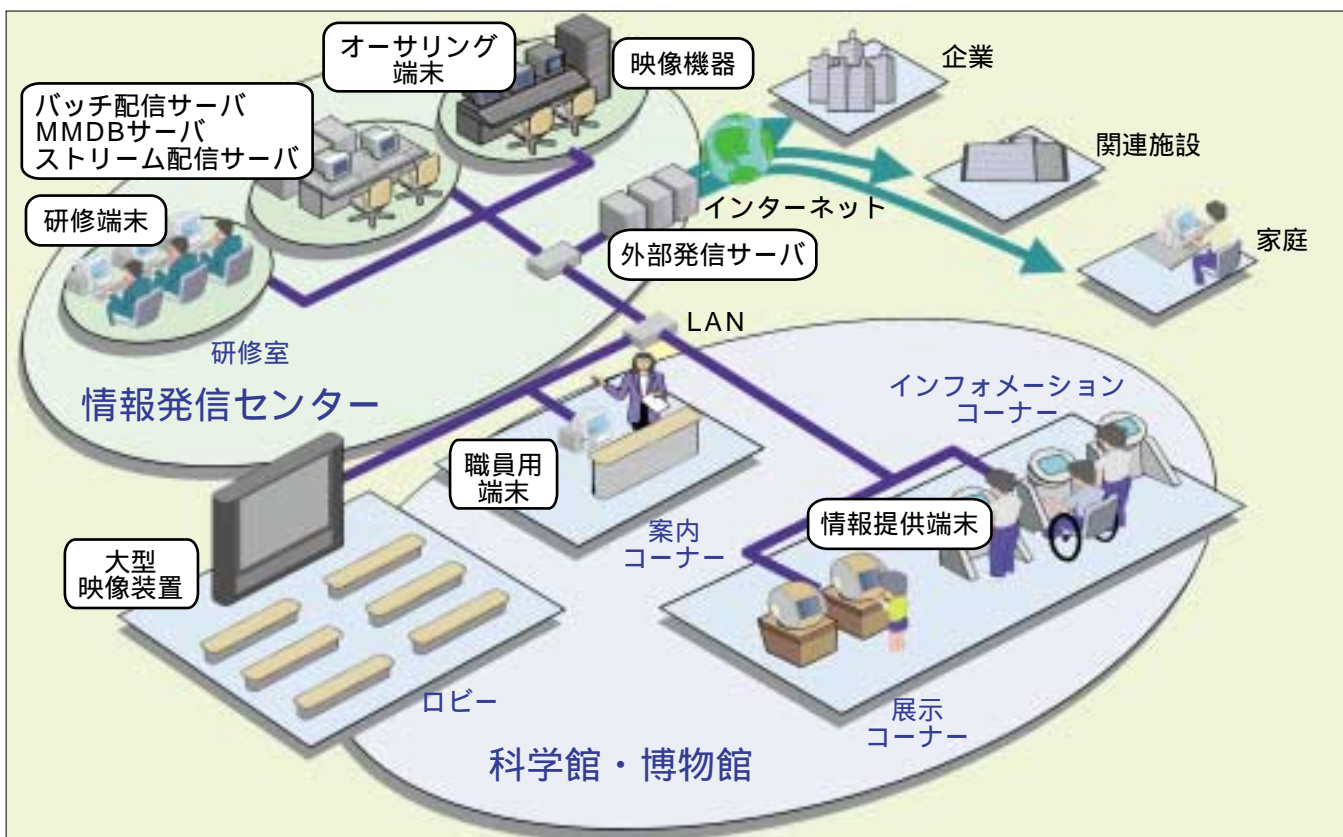
21世紀を迎え、いつでも、どこでも、だれでもが様々なサービスを受けられる情報化社会がいよいよ現実のものとなる。このような情報化社会では、動画を中心としたマルチメディア情報を用いた対話的なコンテンツを効率良く配信・管理する技術が今まで以上に求められるようになると予想される。

三菱電機では、このような情報化社会の基盤の一翼を担うため、マルチメディア情報(動画・静止画・音声などの複合データ)の管理・配信・展示を行うためのシステム“MEDIAGATE”を開発した。MEDIAGATEは、館内や地域内へマルチメディア情報を自動配信し表示するために必要な機能を持つトータルパッケージである。単に映像を

閲覧するだけの従来システムに比べ、対話的なコンテンツを配信・展示することができる。

MEDIAGATEは、これらの特長を実現するために、自動バッチ配信機能や自動展示機能及びストリーム配信に対応した動画ハイパーシステムを提供している。これらの機能によって、高画質・高精細な動画や即時性の高い映像情報を含むマルチメディア情報を容易に配信・管理できるようになった。

MEDIAGATEは、科学館・博物館の展示システムや教室内のパソコンへの配信システムに適用されているほか、大型映像装置などと組み合わせてビル内や公共の場所向けの情報案内・展示システムに適用可能である。



## MEDIAGATEのシステムイメージ

MEDIAGATEを用いた典型的なシステム構築例を示す。情報発信センターには、マルチメディア情報を配信するためのサーバ(バッチ配信サーバ、ストリーム配信サーバ)や配信するマルチメディア情報を格納するデータベース(MMDB)サーバを設置する。マルチメディア情報は、設定されたスケジュールに応じて、館内のLANを通じて各コーナーに配置された情報提供端末や大型映像装置へ配信・展示される。